

24
王三
聖徒伝 245

心のすべてを もって立ち返る

エレミヤ書 24章 二かごのいちじくのたとえ

アウトライン

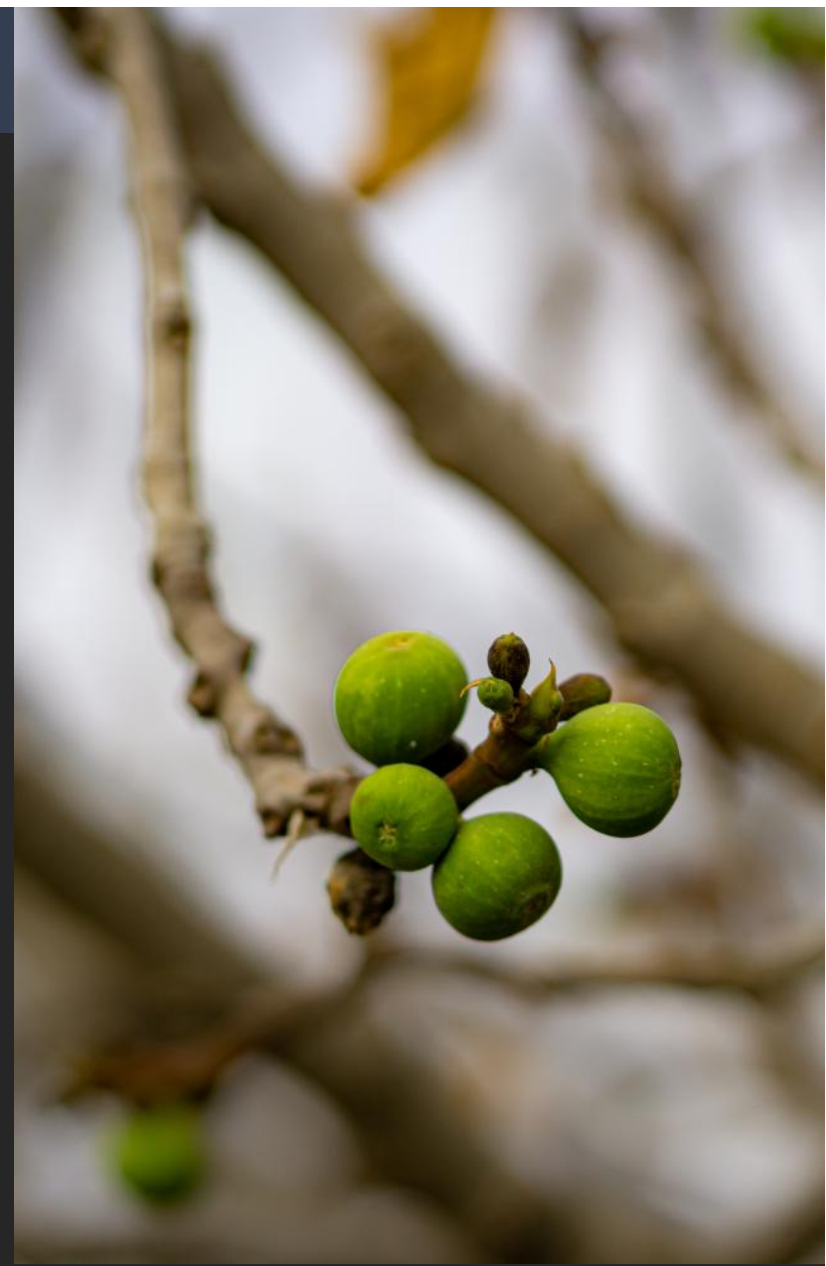
0. イン트로ダクション

I. 二かごのいちじく 24:1～10

II. 聖書における いちじく

III. まとめと適用

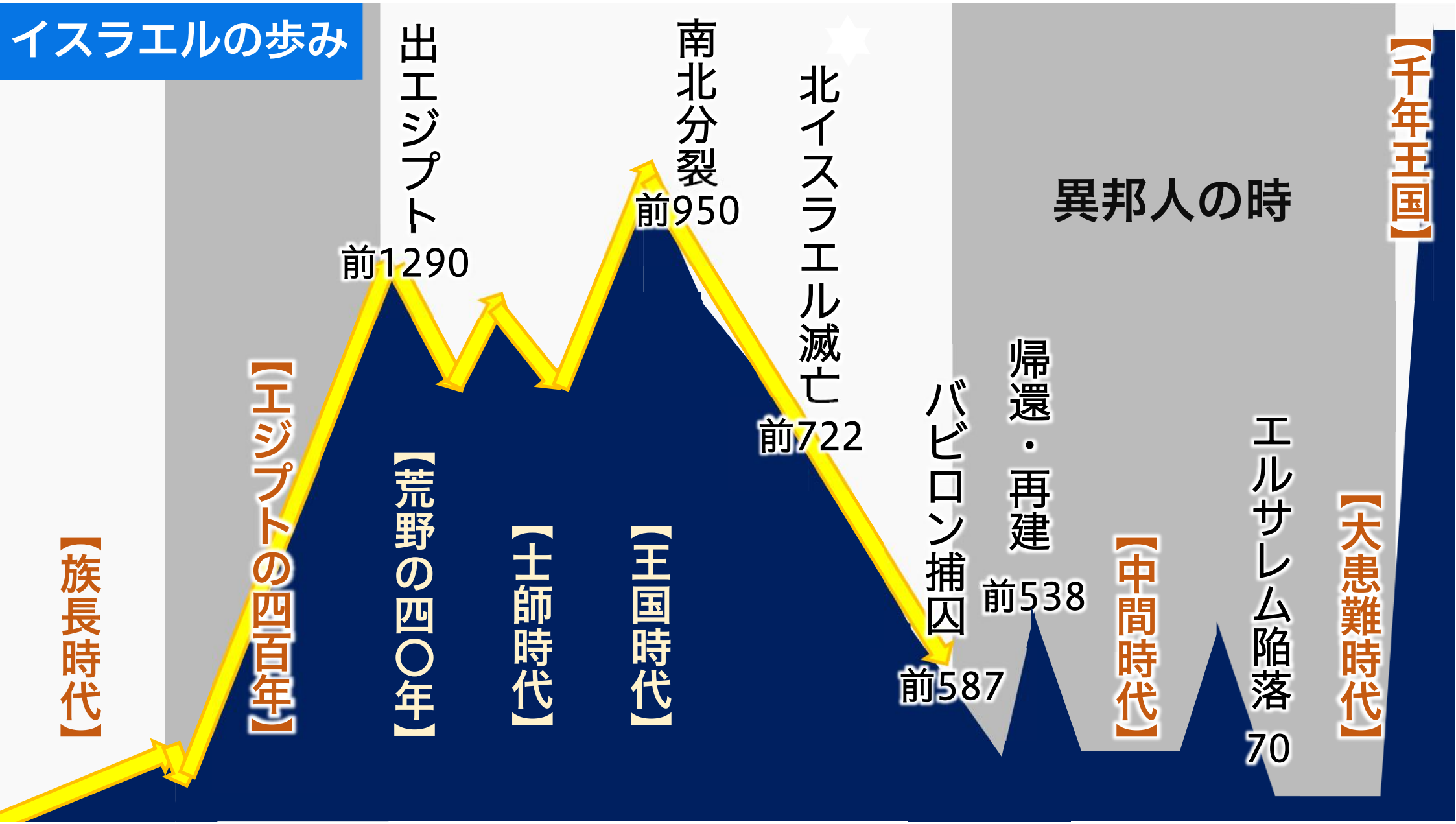
心のすべてをもって立ち返る



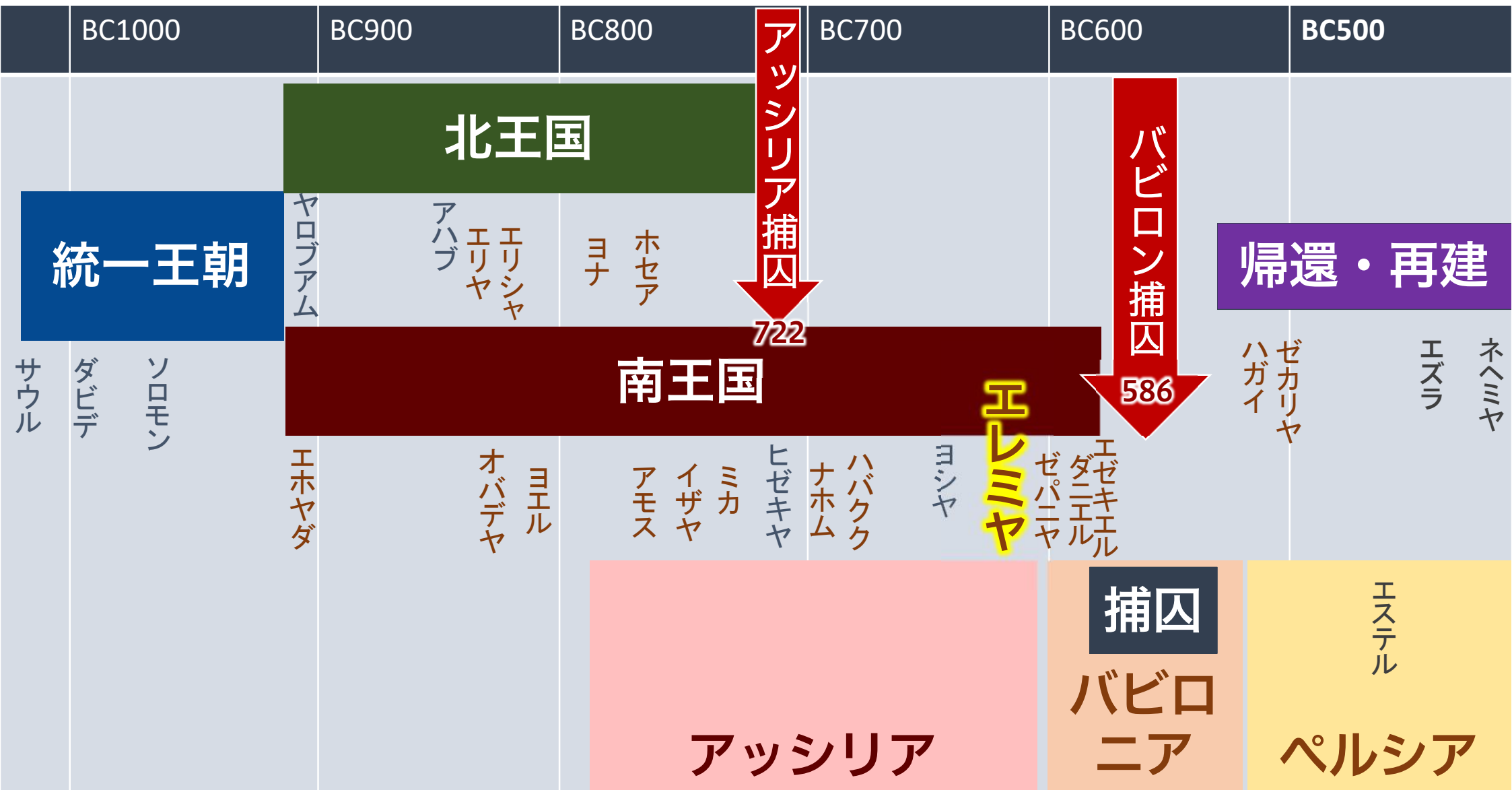


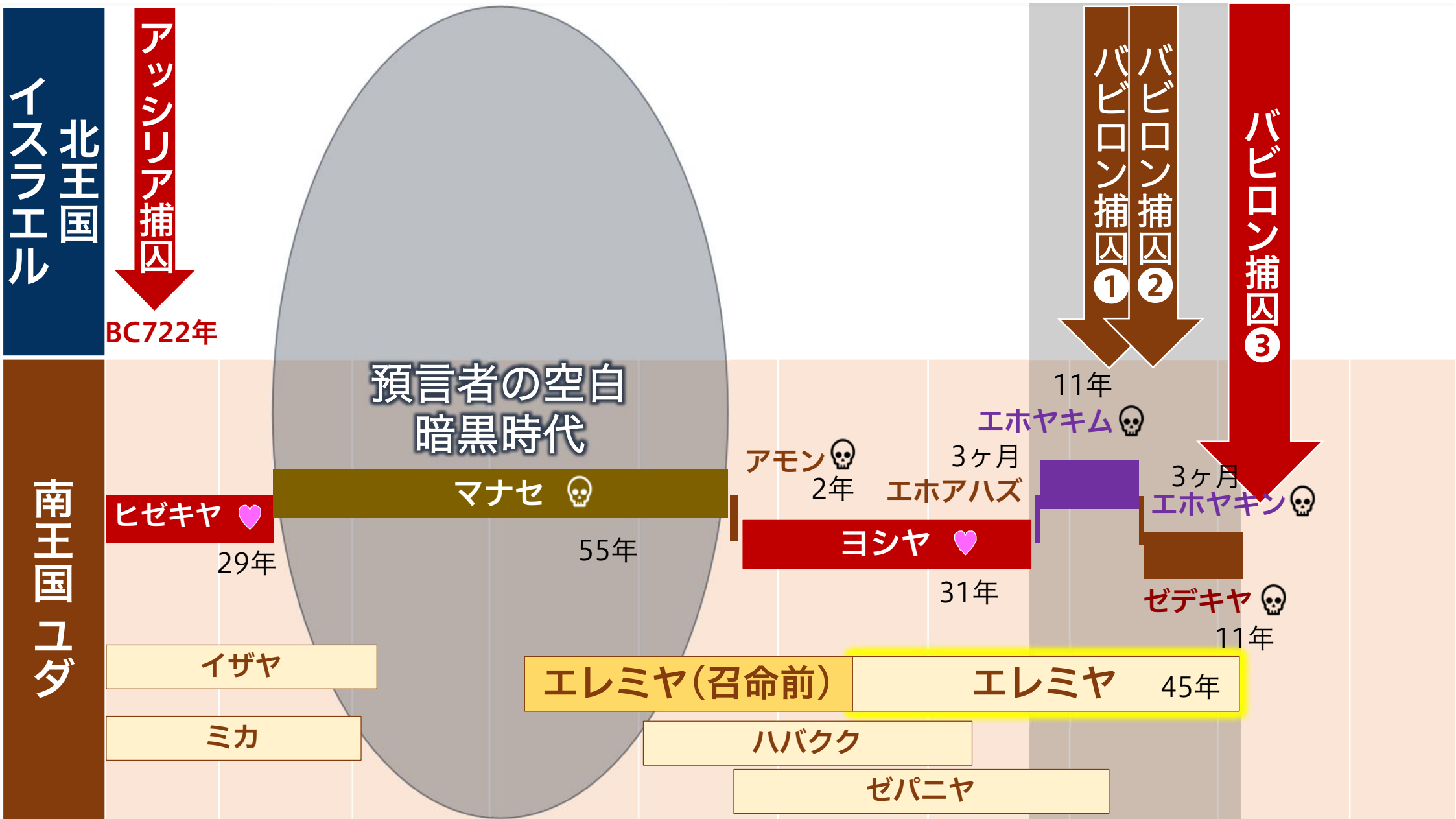
0. イントロダクション

イスラエルの歩み



イスラエル王国史





エレミヤ書の構成

章	時代	おもな内容
1～12	ヨシヤ王の時代	エレミヤの召命 エルサレムの罪状と裁定
13～20	エホヤキム王の時代	捕囚の預言
21～38	混沌の時代① エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※年代は混在)	帰還の希望(23~29章) エルサレムの滅亡 慰め
39～44	捕囚後	
45～51	混沌の時代② エホヤキム、エホヤ キン、ゼデキヤ (※年代は混在)	エルサレムの滅亡 諸国への預言
52	まとめ	エレミヤの生涯

最後の王たち

ヨハナン

第一次捕囚

第二次捕囚

キリスト

⑱エホヤキム
25歳～(11年)

⑲エホヤキン
(エコンヤ)
18歳～(3ヶ月)

エジプトで死

⑳エホアハズ(シャルム)
23歳～(3ヶ月)

バビロンで死

第三次捕囚

㉑ゼデキヤ 21歳～(11年)

⑯ヨシヤ
8歳～(31年)



バビロニア年代記・ネブカドネツアル王のユダ侵略

■ BC605 …ネブカドネツアル王が、初めてエルサレムに侵攻。

第一次バビロン捕囚 …ダニエル

■ BC597 …エホヤキンの時、エルサレムを包囲、占拠。
有能な市民をバビロンに連れ去る。ゼデキヤを傀儡に。

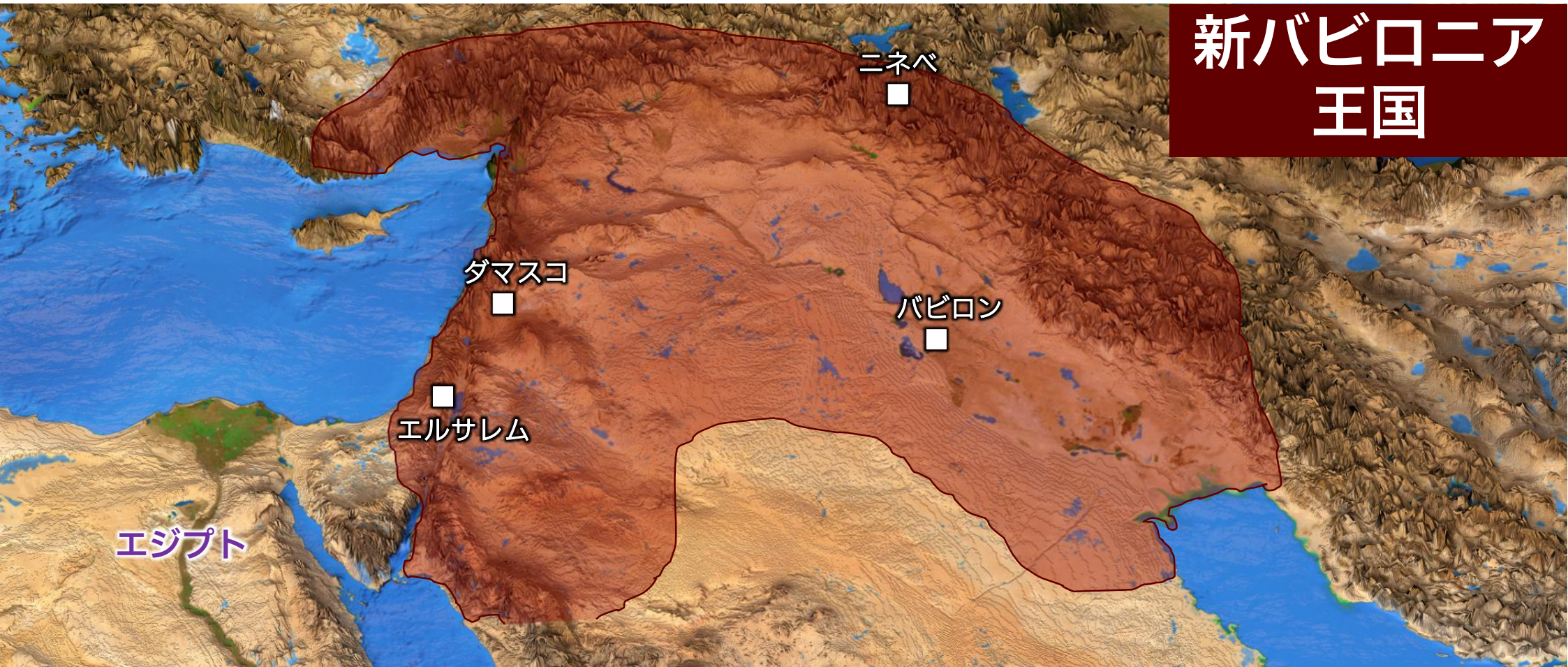
第二次バビロン捕囚 …エホヤキン王、エゼキエル

■ BC589 …反逆したゼデキヤに対して、再びエルサレムを包囲。

■ BC587(586) …**エルサレム陥落。完全な壊滅。神殿も破壊。**
エルサレムの住民の多くが捕囚としてバビロンへ。

第三次バビロン捕囚 …ゼデキヤ王

新バビロニア 王国



■ネブカドネツアル王は、アッシリアを滅ぼし、エジプトと激しく争い、退けて、シリア、イスラエル地方までを征服。

Ⅰ. ニかごのいちじく

エレミヤ書24章1～10節



イスラエルのいちじく

御告げ 二かごのいちじく エレ24:1

バビロンの王ネブカドネツアルが、ユダの王、エホヤキムの子**エコンヤ**と、ユダの高官たち、職人、鍛冶をエルサレムから捕らえ移してバビロンに連れて行った後のこと、【主】は私にこのように示された。 見よ、【主】の神殿の前に、二かごの**いちじく***が置かれていた。

*イスラエルを代表する産物の一つ。

「わたしはイスラエルを、荒野のぶどうのように見出し、あなたがたの先祖を、**いちじく**の木の初なりの実のように見ていた。ホセア9:10」



御告げ 二かごのいちじく エレミヤ24:2

一つのかごにあるのは非常に良いいちじくで、初なりのいちじくの実*のようであり、もう一つのかごにあるのは非常に悪いいちじくで、悪くて食べられないものであった。

＊イスラエルの先祖にもたとえられる

「わたしはイスラエルを、荒野のぶどうのように見出し、あなたがたの先祖を、いちじくの木の実の初なりの実のように見ていた。ホセ 9:10」



御告げ

主の問い エレミヤ24:3～4

そのとき、【主】が私に、「エレミヤ、あなたは何を見ているのか」と言われたので、私は言った。「いちじくです。良いいちじくは非常に良く、悪いほうは非常に悪く、悪くて食べられないものです。」

すると、私に次のような【主】のことばがあった。



御告げ

捕囚の民 エレミヤ24:5

「イスラエルの神、【主】はこう言う。わたしは、この場所からカルデア人の地*に送ったユダの捕囚の民*を、この良いいちじくのように、良いものであると見なそう。」

*バビロニアの都、バビロン

*主の裁きを受けた捕囚民には、憐れみが。



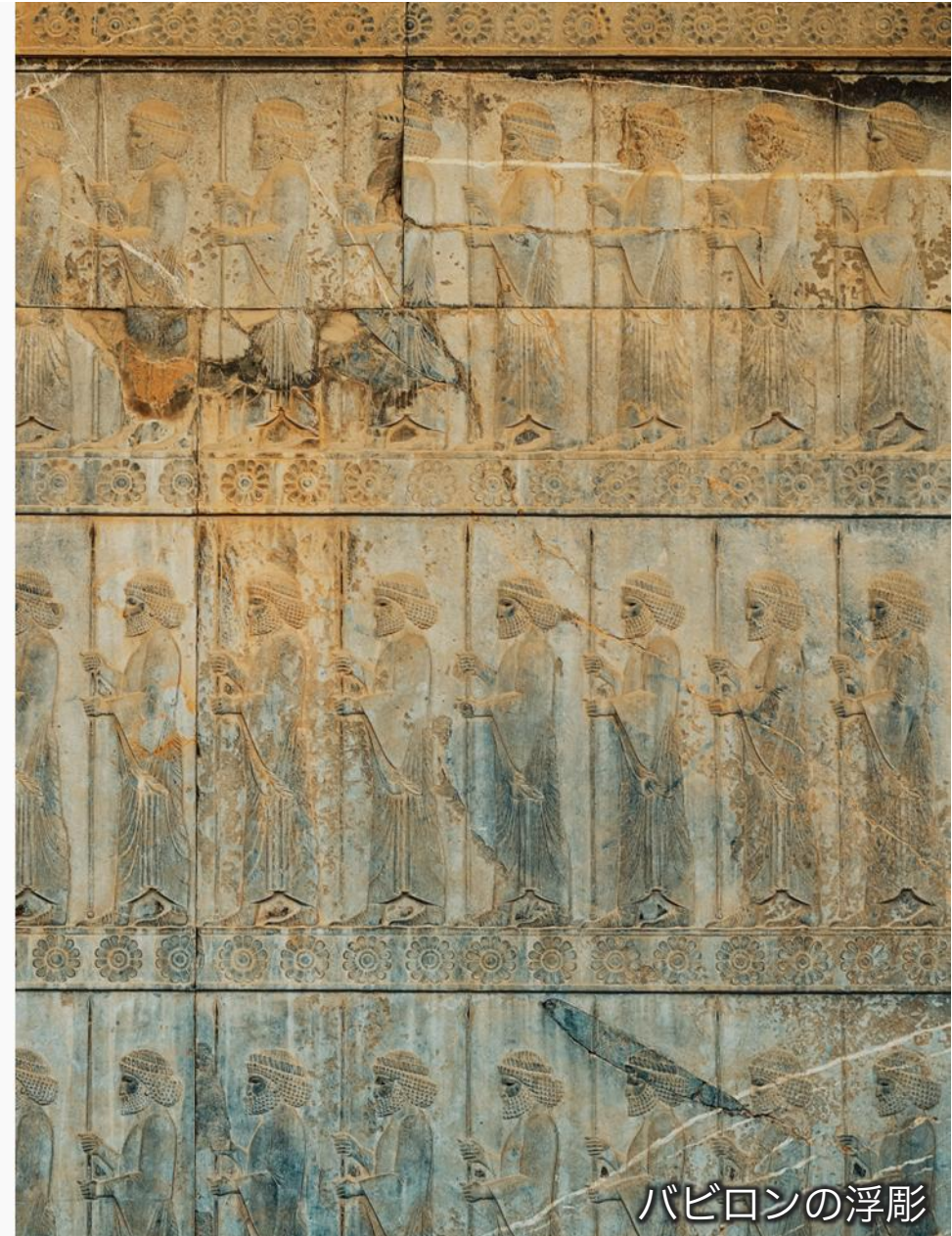
再現されたバビロン

御告げ

主の約束 エレミヤ24:6

わたしは、彼らを幸せにしようと彼らに目をかける。彼らをこの地に帰らせ、建て直して、壊すことなく、植えて、引き抜くことはない。

捕囚民は、居住地を与えられ、信仰も認められ、血筋も続いた。



バビロンの浮彫

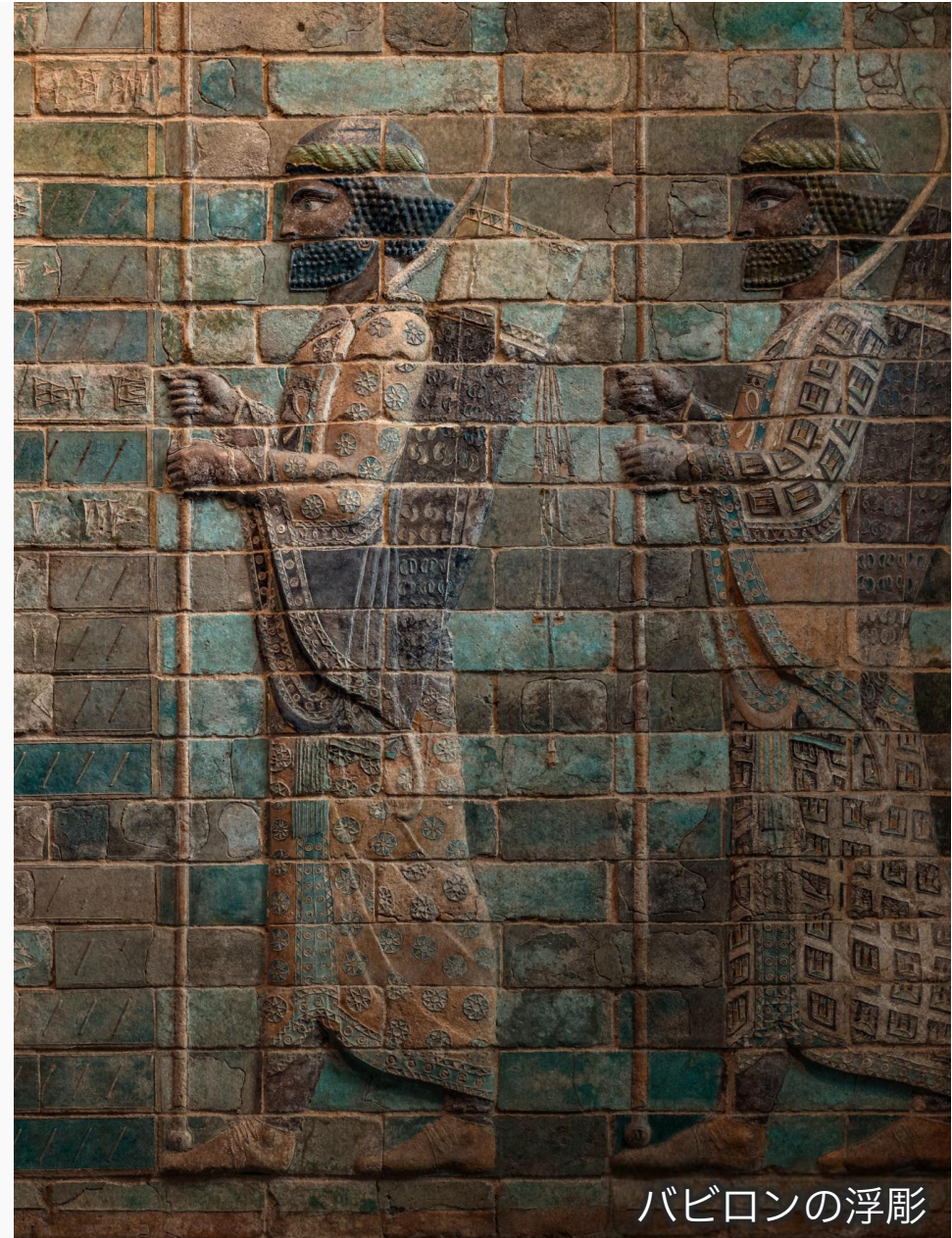
御告げ 立ち返り エレミヤ24:7

わたしは、わたしが【主】であることを知る心を彼らに与える*。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。彼らが心のすべてをもってわたしに立ち返る*からである。

捕囚以降、イスラエルの民は、偶像礼拝に陥ることがなかった。

*新しい契約につながる(31章)

*究極的な回心は、大艱難時代



バビロンの浮彫

御告げ 悪いいちじく エレミヤ24:8

しかし、悪くて食べられないあの悪いいちじくのように——まことに【主】は言われる——わたしはユダの王ゼデキヤ*と、その高官たち、エルサレムの残りの者と、この地に残されている者、およびエジプトの地に住んでいる者を、このようにする。

＊傀儡だが反逆して悲惨な死を遂げる

■ 捕囚から残された者、エジプトに逃れた者には、悲惨な裁きが!!

➡ 捕囚が神の救いの道



バビロンの浮彫

御告げ

荒廃 エレミヤ24:9

わたしは彼らを、地のすべての王国にとって、おののきのもと、悪しきものとする。また、わたしが追い散らす、すべての場所で、そしりと嘲りの的、物笑いの種、ののしりの的とする。

■ 586年のバビロン捕囚(第三次)で、都も神殿も徹底的に破壊。



バビロンの浮彫

御告げ

・ エレミヤ24:10

わたしは彼らのうちに、剣と飢饉と疫病を送り、彼らとその先祖に与えた地から彼らを滅ぼし尽くす。」

■ 捕囚後、イスラエルの地は荒廃。

70年以降、20世紀にいたるまでも。

■ 究極的な裁きと荒廃は、大艱難時代





II. 聖書におけるいちじく

イスラエルのいちじく畑

アダムといちじく

創世記3:7

こうして、ふたりの目は開かれ、自分たちが裸であることを知った。そこで彼らは、**いちじく**の葉をつづり合わせて、自分たちのために腰の覆いを作った。

■禁断の実を食べる罪を犯して死んだ
(神から断絶された)アダムとエバは、
裸を恥じて、**いちじく**で腰を覆った。

➡罪を覆うには犠牲の動物の血が必要

➡真実の贖いには、メシアの血が必要



エジプトといちじく

詩78:47

「神は雹で彼らのぶどうの木を稲妻で
いちじく桑の木を滅ぼされた。」

- エジプトを襲った十の災い。
いちじくの木も滅ぼされた。
- 最後の災いを過ぎ越した後、
イスラエルはエジプトを脱出



偵察隊といちじく

民数記 13:23

彼らはエシュコルの谷まで来て、そこでぶどうが一房ついた枝を切り取り、二人で棒で担いだ。また、ざくろや**いちじく**の木からも切り取った。

- 12人の先遣隊が持ち帰った、約束の地の産物の一つが、**いちじく**
- この直後、イスラエルの民の反逆、騒動。
40年の荒野の放浪が決定!!
ヨシュア、カレブ以外の現世代は荒野で死。



約束の地といちじく

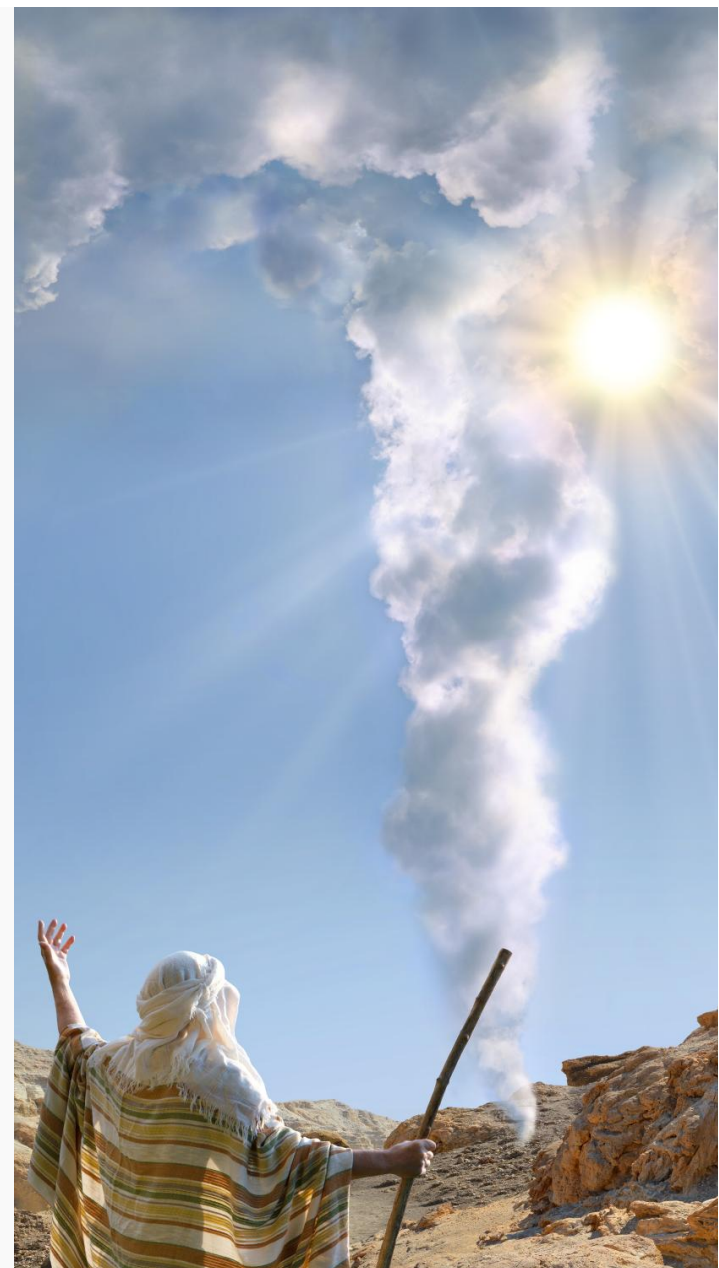
申命記8:6～8

あなたの神、【主】の命令を守って主の道に歩み、主を恐れなさい。

あなたの神、【主】があなたを良い地に導き入れようとしておられるからである。そこは、谷間と山に湧き出る水の流れや、泉と深い淵のある地、小麦、大麦、ぶどう、**いちじく**、ざくろのある地、オリーブ油と蜜のある地である。

■ 荒野の40年を主が守られた。

いちじくは、約束の地の恵みの一つ。



ソロモンといちじく

Ⅰ 列王 4:25, 10:27

「ユダとイスラエルは、ソロモンの治世中、ダンからベエル・シェバに至るまでのどこでも、それぞれ自分のぶどうの木の下や、**いちじく**の木の下で安心して暮らした。」

「王はエルサレムで銀を石のように用い、杉の木をシェフェラの**いちじく**桑の木のように大量に用いた。」

■ **いちじく**は、

イスラエルの繁栄の時代の象徴でもあった。



ヒゼキヤといちじく

Ⅱ 列王20:7

イザヤが「ひとかたまりの干しいちじくを持って来なさい」と命じたので、人々はそれを持って来て腫物に当てた。すると彼は治った。

- ヒゼキヤ王の癒やしに、**いちじく**が。
- 15年の寿命を加えられたヒゼキヤは、バビロンの使者を歓迎し宝物倉を見せた。
→ 直後、イザヤがバビロン捕囚を予告



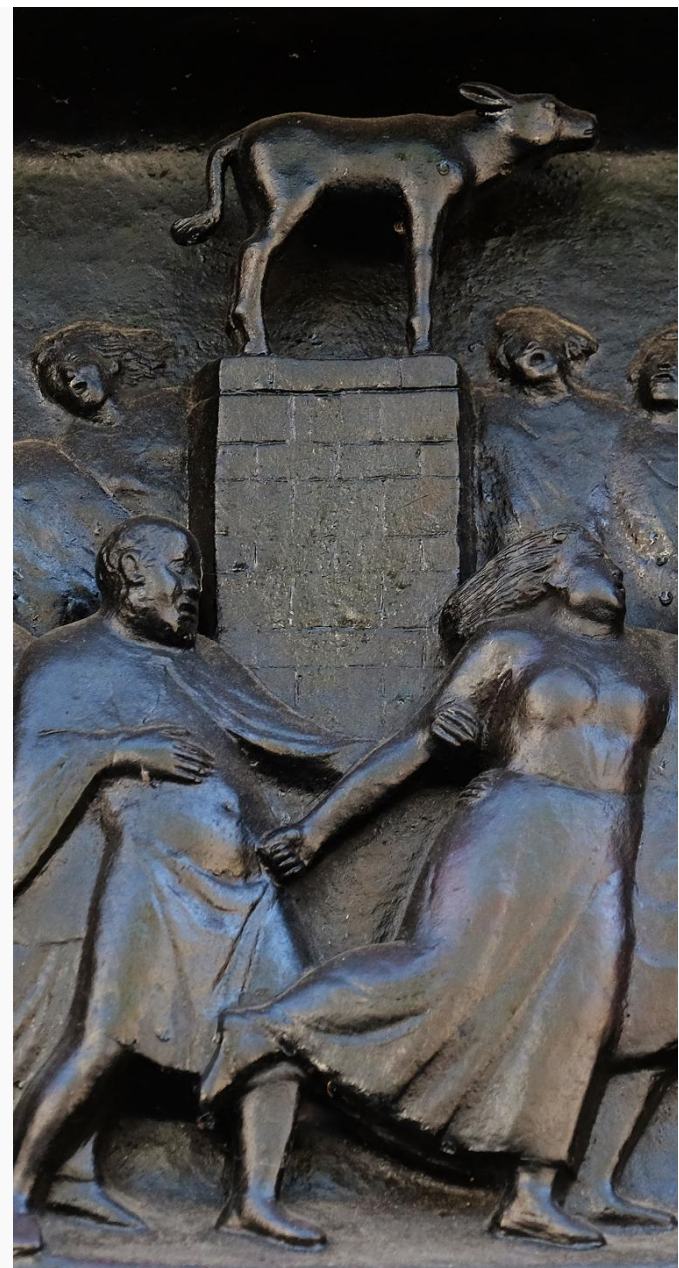
北王国といちじく

イザヤ9:9～10

この民、エフライムとサマリアに住む者たちはみなそれを知り、高ぶり、思い上がって言う。

「れんがが落ちたから、切り石で建て直そう。
いちじく 桑の木が切り倒されたから、杉の木でこれに代えよう。」

■ 度重なる警告も無視し、偶像礼拝に邁進した北王国は、アッシリア捕囚で滅亡。



南王国といちじく

エレミヤ8:12～13

「彼らは忌み嫌うべきことをして、恥を見たか。全く恥じもせず、辱めが何であるかも知らない。だから彼らは、倒れる者の中に倒れ、自分の刑罰の時に、よろめき倒れる。

わたしは彼らを刈り入りたい。——【主】のことば——しかし、ぶどうの木には、ぶどうがなく、**いちじく**の木には、**いちじく**がなく、葉はしおれている。わたしはそれらをそのままにしておく。」

■ 枯れたいちじくのように放置される南王国



メシアといちじく

マタイ 21:19

道端に一本の**いちじく**の木が見えたので、そこに行って見ると、葉があるだけで、ほかには何もなかった。それでイエスはその木に「今後いつまでも、おまえの実はないように」と言われた。すると、たちまち**いちじく**の木は枯れた。

■ 枯れた**いちじく**は、

メシアを拒んだイスラエルを象徴

➡ 70年、ローマによるエルサレム陥落



終末といちじく

イザヤ34:4

天の万象は朽ち果て、天は巻物のように巻かれる。その万象は枯れ落ちる。ぶどうの木から葉が枯れ落ちるように。**いちじく**の木から実がしぼんで落ちるように。

➡世の終わり、大艱難時代の裁きの様子



千年王国といちじく

ヨエル2:21～23

地よ、恐れるな。楽しみ、喜べ。【主】が大いなることを行われたからだ。

野の獣たちよ、恐れるな。荒野の牧草が萌え出で、木が実を实らせ、**いちじく**とぶどうの木が豊かに実る。

シオンの子らよ。あなたがたの神、【主】にあって、楽しみ喜べ。

■メシアが建てられる神の王国で、
荒野も、**いちじく**が実る豊かな土地となる。





Ⅲ. まとめと適用

心のすべてをもって立ち返る

雨季のイスラエル

いちじくが象徴するもの

- ①実を結んだ いちじく → イスラエルに与えられた繁栄
- ②実のない いちじく → イスラエルの不信仰の現れ
- ③枯れた いちじく → イスラエルへの裁き
- ④再び実を結んだ いちじく → 真のイスラエルの建設

二かごのいちじくが示す 二つのイスラエル

	良い いちじく	悪い いちじく
直近の意味	神の裁きを甘んじて受け、 捕囚された者 → 守られ、やがて帰還	裁きを拒んで残された者 → 散らされ、 滅ぼし尽くされる
終末での意味	メシアに立ち返った者 → 民族的回心 神の王国へ	メシアを拒んだ者 → 災厄と迫害で滅ぶ 永遠の滅びへ

裁きのただ中にある救い

バビロン捕囚

甘んじて捕囚の裁きを受けることで、
捕囚の地で守られ、やがて帰還する

大患難時代

反キリストにより、都は破壊。
主に従い荒野(ボツラ)に逃れ、
民族的回心に導かれる。
メシア再臨後、世界中からエルサレムに帰還

迫害・試練のただなかで、聖徒たちが見た幻

- 預言者たちは、捕囚の裁きと帰還、神の国の幻を見た。
- ステパノは、天から招かれる栄光のイエスを見た。
- パウロは、過酷な旅の途上で、第三の天を垣間見た。
- ヨハネは、流刑の地で新天新地に至る幻を見た。

苦難の中で際立ち、確信を強められる、将来の希望がある

父なる神は、愛する子を訓練される

■ヘブル人への手紙12:4～7

あなたがたは、罪と戦って、まだ血を流すまで抵抗したことがありません。そして、あなたがたに向かって子どもたちに対するように語られた、この励ましのことばを忘れていません。

「わが子よ、主の訓練を軽んじてはならない。主に叱られて気落ちしてはならない。主はその愛する者を訓練し、受け入れるすべての子に、むちを加えられるのだから。」

訓練として耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が訓練しない子がいるでしょうか。

★ 心のすべてをもって立ち返る ★

- 捕囚の裁きのただ中で、エレミヤに与えられた希望。
甘んじて裁きを受ける者を、主が守られ、帰還させる。
- イスラエルへの最後の裁きの時代、残された信仰者は、
荒野に逃れ、民族的回心、完全な帰還へと導かれる。
- 終末へ向かって、ますます苦難が増す世界にあって、
悔い改めつつ、イスラエルと人類の罪の赦しを求めつつ、
再臨の主の栄光を仰ぎ見続けよう。

学びと気付きのすべてを持って 立ち返り続けて行こう

てん　　とう　　わたし　　つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください

わたし　　かみ　　みこ　　しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし　　つみ　　あがな　　じゅうじか　　し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか　　ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ　　ふっかつ　　しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

しゅ　　あい　　こ　　くんれん　　よ　　しれん
主は、愛する子を訓練されます。世にあっては試練があります。

くなん　　なか　　しゅ　　やくそく　　しんらい　　つよ
苦難のただ中で、主の約束への信頼を強めていきますように。

わたし　　まな　　きづ　　しゅ　　た　　かえ　　つづ
私たちは、学び、気付かされつつ、主に立ち返り続けていきます。

さいりん　　しゅ　　ま　　のぞ　　ふくいんせんきょう　　しめい　　つか
再臨の主を待ち望みます。福音宣教の使命に遣わしてください。

しゅ　　な　　いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。　　アーメン」